



秋保大滝

写真:宮城県観光課提供


計量みやぎ

2010.8.1
 編集発行
 仙台市太白区長町7-22-23
 宮城県計量検定所内
 (社)宮城県計量協会
 TEL 246-2466・FAX 247-1490
 www.keiryō.net/

第五十三回 通常総会開催

平成二十二年度通常総会は、六月三日（木）仙台市青葉区「仙台国際ホテル」において、来賓に宮城県知事（代理・経済商工観光部産業立地推進課長 猪野信氏）仙台市長（代理・経済局産業政策部経済企画課長 佐野直樹氏）、宮城県計量検定所副参事兼次長 森屋清氏、顧問である宮城県議会議員 石川光次郎氏、渡辺博氏、鍋島綾雄氏のご臨席をいただき開催された。

総会は、定刻十五時に伊達副会長が開会を宣し、鍋島会長挨拶に続いて表彰式に移り、猪野経済商工観光部産業立地推進課長より知事褒状、鍋島会長より会長

表彰五名、褒賞四名にそれぞれ表彰状と記念品が贈られた。受賞者を代表して嶺岸優氏が謝辞を述べ表彰式を終了した。続いて、猪野商工観光部産業立地推進課長、石川宮城県議会議員、渡辺博顧問より祝辞をいただいた後、定款第二十四条に基づき、鍋島会長が議長に就任し、議事の審議に入った。第一号議案から第四号議案について、武田専務理事と齋藤事務局次長がそれぞれ報告を行い満場一致で可決された。最後に事務局より報告事項があり、千葉副会長の閉会挨拶により十七時終了した。



祝辞



御来賓の方々



知事褒状受賞

計量功労受賞者

宮城県知事褒状

嶺岸 優氏

東北公害保安㈱

(社)宮城県計量協会会長表彰

高橋 仁氏

日東イシダ㈱

永澤 良次氏

㈱新興

遠藤 智史氏

㈱仙台測器社

松本 寿郎氏

北日本環境整備㈱

水戸 修一氏

日本エンヂニヤール・サービス㈱

(社)宮城県計量協会会長褒賞

皆川 博美氏

日東イシダ㈱

宗像 智氏

日東イシダ㈱

岡田万寿美氏

㈱新興

鳴原 栄志氏

北日本環境整備㈱



受賞者



受賞者代表謝辞

決議議案

《第一号議案》

平成二十一年度事業報告について、平成二十一年度の会員の状況、理事会及び諸会議の内容、公益事業として、計量記念日開催・工業品材料依頼試験受託・仙台市指定定期検査機関業務・流通事業者の指導・機関誌「計量みやぎ」の発行、収益事業として、特定計量器の代検査事業・日本郵政グループ計量管理受託業務・材料試験機の検査・質量に係る計量証明事業・計量管理受託事業・県収入証紙取扱事業・各部会合同研修会等について説明し、満場一致承認された。

《第二号議案》

平成二十一年度財務諸表の承認について
一般会計
四、二四七、二九五円
受託金特別会計
二五、〇九六、〇五五円
指定検査機関特別会計
二六、二〇五、五三三円
収益事業特別会計
三六、七〇三、二二二円

なお収益事業特別会計においては、八七三、八七四円の当期利益が生じ、この金額は次年度一般会計へ繰越されるという決算報告がなされ、満場一致で承認された。

《第三号議案》

平成二十二年事業計画(案)の審議について
平成二十二年事業計画の審議については、別掲の事業計画を原案とあり可決された。

《第四号議案》

平成二十二年度収支予算(案)の審議について
一般会計
四、二二〇、〇〇〇円
受託金特別会計
一五、四一五、〇〇〇円
指定検査機関特別会計
一八、四四六、六三六円
収益事業特別会計
三五、二五六、〇〇〇円

の当初予算について満場一致で可決された。

《報告事項》

(1) 役員の補充について
役員の補充については、現在三名の欠員となることから補充するものである。
㈱タツノ・メカトロクス東北支店
支店長 森 英泰氏
エヌエヌ環境㈱東北支店
営業取締役支店長 南部 満氏
大阪シーリング印刷㈱東北営業所
所長 安斎敏行氏

(2) 新公益法人移行選択について
平成二〇年十二月に新公益法人法が施行され、法人にはより効率的な事業運営や透明な財産情報提供

が求められ、また、同時に五年以内に一般社団法人または公益社団法人へ移行が義務づけられることになっております。
当協会では、新制度への対応について、検討されてきましたが、一般社団法人及び公益社団法人の比較、メリット・デメリットの分析調査等行つたところ、当協会は現在においては公益事業の方がウェイトを占める割合が多く、充分公益社団法人で申請出来る可能性はありますが、今後引き続き行つていけるかという事を考えた場合、収益事業の方の数字が大きくなることも十分考えられます。

このことから、将来を見据えた場合を考え、一般社団法人で進む方向で検討されたという事を、武田専務理事から報告があった。

また、今後移行への対応として、平成二十三年度の総会までに、定款改定の作成・新公益法人会計の導入など事務手続きを踏み、総会後に一般社団法人移行申請を行う予定であるとの報告であった。

(3) 計量功労者の表彰について
宮城県知事褒状・東北六県北海道計量協会連合会会長表彰・会長表彰・褒賞について報告された。
(4) 東北・北海道計量大会日程について
今年、当協会が開催県に当たつていことから、多くの参加を望む旨の報告があった。

平成二十二年事業計画

平成二十二年事業計画として、平成二十一年度に引き続き運営強化事業を軸とした展開を堅実に運営致します。

仙台市から「指定定期検査機関」として指定を受けてから今年で九年目にあたり、特定計量器の定期検査及び立入検査補助の委託を受け、計量の安全確保・消費者擁護に努めてきたこれまでの実績を踏まえ、更なる実施体制の強化を図るとともに、平成十六年度に全国一斉に受託した日本郵政グループの適正計量管理事業についても、継続事業として着実に推進する。更に、協会の基盤をなす県からの代検査事業・工業材料依頼試験等事業についても継続事業として推進する。

また、これからの厳しい時代に対応できる団体として、さらなる協会の運営基盤を強化し、県民の正しい計量思想の普及並びに、中小企業の発展に寄与するため事業を着実に展開する。



主な事業の基本方針

- 一、運営強化事業
 - ・取引・証明用計量器の代検査事業（八市・六郡対象）
 - ・仙台市指定定期検査機関の行う定期検査（泉区・宮城野区・若林区）
 - ・工業品材料依頼試験等事業
 - ・材料試験機検査事業の拡大
 - ・仙台市管内立入検査補助業務
 - ・日本郵政グループの受託事業
 - ・質量に係る計量証明事業
 - ・計量記念日事業による計量思想の普及啓発
- 二、公益事業
 - ・「みやぎ計量のひろば」の開催
 - ・「計量みやぎ」発刊による広報活動の強化
 - ・工業品材料依頼試験等業務
 - ・仙台市指定定期検査機関及び立入検査事業
 - ・仙台市管内商品量目・特定計量器立入検査補助業務
- 三、収益事業
 - ・取引証明用「大型・小型ばかり」の代検査業務
 - ・質量に係る計量証明事業
 - ・計量管理受託事業
 - ・日本郵政グループの計量管理受託事業の継続
 - ・材料試験機の検査事業の継続
 - ・宮城県証紙販売事業の拡充

四、部会活動対策事業

- ・工業・環境・流通・計量士・計量器コンサルタント各部会の研修、講習会等の展開
- ・優良事業場及び永年勤続従業員の表彰
- ・先端産業事業場の視察
- ・県内計量器販売者の研修・育成
- 五、行政並びに関係機関諸会議
 - ・（社）日本計量振興協会第十一回 通常総会
 - 期日 平成二十二年五月二十八日（金）
 - 場所 グランドヒル市ヶ谷東京都内
 - ・東北・北海道計量協会会長会議及び東北・北海道計量大会第五十九回 連合総会
 - 期日 平成二十二年十月七日（土）
 - 場所 仙台市太白区秋保町湯元字 薬師二十八 秋保温泉 ホテル佐勘
 - ・計量記念日全国大会
 - 期日 平成二十二年十一月
 - 第三十二回計量士等東北地区 協議会
 - 期日 平成二十二年十一月～十二月
 - 場所 福島県管内
 - 平成二十二年度東北・北海道 事務局長会議
 - 期日 平成二十三年二月
 - 場所 宮城県管内
- ・行政機関及び各種団体の主催する行事等の参加

第十二回力学量標準トレーサビリティ・ワークシヨップ研修会開催

世界をつなぐ信用と信頼

日本試験機工業会主催、（社）日本計量機器工業連合会が共催して年1回開催している「第十二回力学量標準トレーサビリティ・ワークシヨップ」が、六月四日（金）午前10時から横浜市中区のメルパルク横浜において、全国から約200名が参加して開かれた。

当協会からは佐藤・松倉氏の二名がワークシヨップに参加した。実行委員長（株）ミットヨ小島光司氏の挨拶があり、ワークシヨップが開催された。総合司会はワークシヨップ会長の新潟工科大学布村成具学長が努めた。特別講演は東京電気大学の佐野教授による「町工場を世界企業に育て上げた本田宗一郎氏のものづくり・人づくり―F1挑戦から歩行者安全対策まで―」の講演が行われた。以下、各セッションの概要は以下のとおりである。

一：実行委員会報告

① 第十一次アンケート集計報告

二：カ（パネル）ディスカッション

① 力計のトレーサビリティとひずみゲージ式力計の代替指示装置

特別講演

① 町工場を世界企業に育て上げた本田宗一郎氏のものづくり・人づくり

（F1挑戦から歩行者安全対策まで）

三：硬さ

① ピッカー硬さのトレーサビリティとJCS

② ロックウエル（HRB）持回り試験結果の報告

四：引張・圧縮試験

① 圧縮試験機による製品試験の不確かさ評価

（コンクリート圧縮強度試験）

五：質量

① 質量のトレーサビリティの軌跡と未来への創造

各セッション終了後、直接業務に携わっている方々による熱心な質疑応答があり、最新情報など聴講することができ、大変有意義な研修会であった。

日時 平成二十二年六月四日（金）AM10時

場所 横浜市中区メルパルク横浜

東北六県・北海道計量協会事務局長会議開催

平成二十一年度東北・北海道計量協会事務局長会議は、山形県当番により、二月五日(金)山形県「ホテルキャッスル」において開催された。

参加者は、各道県計量協会専務理事及び事務局長外七名、山形県計量協会長の挨拶の後鈴木専務理事議長により開催された。各道県から提案された議題は次のとおりです。

- (議題一) 適正計量に係わる講習会・研修会等の開催について (秋田県)
- (議題二) 計量士の活用について (福島県)
- (議題三) 適正計量管理事業所の業務委託について (北海道)



(議題四) 業規則に係わる各道県の資料について (青森県)

(議題五) 次期開催県について (山形県)

以上の議題について、各道県から主旨説明があり、真剣に討議された。

議題一については、実際に講習会・研修会等開催している道県は、宮城県・岩手県・福島県・北海道・青森県で、山形県・秋田県については、検討中とのことであった。

議題二については、各道県での職員人数及び定年等について話題となり、山形県では特例として、業務に支障が出ると思われる場合七〇歳までと言っており、外殆ど六十五歳定年であった。

北海道提案の議題三については、計量器の検査・量目検査・主任者指導等、議題要旨とほぼ各道県同じであったが、岩手県では管理規定の見直し、各種計量管理に関する台帳の整理については事業者で行って貰い、その際の助言にとどめていくとのことであった。

議題四についての青森県からの提案議題であるが、平成二十一年二月開催された局長会議で提案された議題と重複しており、すでに当協会では回答しており、秋田県・北海道から抜粋として回答がなされた。

最後に次の開催県については、宮城県が当番に当たることから、引き受ける旨回答した。

なお、開催時期については二月中旬に併せていることから次回月中旬に設定するよう出席者から要望があった。このあと鈴木専務理事より閉会の辞があり終了した。

会社紹介

財団法人食品環境検査協会

仙台事業所 仙台市太白区鹿野 3-14-17 新幹ビル
TEL 022-249-6878 FAX 022-249-6927

財団法人食品環境検査協会は、1955年(昭和30年)に輸出品取締法に基づく食料缶詰及び瓶詰の輸出検査を行う登録検査機関として、「財団法人日本缶詰検査協会」の名称で設立されました。

1998年(平成10年)に「財団法人食品環境検査協会」と改称し、現在に至っております。

その間、試験検査業務を通じて培われた技術力を生かして、JAS(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)法の登録格付機関、食品衛生法の指定検査機関として「食」に関する安全性の確保のための分析試験や品質の評価試験を行う一方、1976年(昭和51年)以降は、当会の主要事業所にて計量法に基づく証明事業所として水質、大気分析を開始しました。

また、全事業所において、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001を取得し、公正な試験検査機関としての社会的評価を得ております。

仙台事業所は、東北六県及び北海道の業務を管轄として活動しており、職員は7名(環境計量士2名)で、微生物検査、環境(水質)分析を主な業務とし、JAS認定審査、HACCPに基づく食品工場などの衛生調査も実施しております。

会社概要

商号	財団法人食品環境検査協会
創立	昭和30年5月10日
本部	東京都中央区京橋3-7-4 近代ビル
職員数	約200名
事業所	仙台事業所、東京事業所、横浜事業所、清水事業所、名古屋支所、神戸事業所、大阪分室、福岡事業所、門司分室
法令による登録	食品衛生法に基づく厚生労働省の登録検査機関 JAS法に基づく農林水産省の登録認定機関(有機農産加工品を含む) 農産物検査法に基づく登録検査機関(成分検査) 飼料安全法に基づく登録検定機関 計量法に基づく計量証明事業所の登録・認可 食品分析: 栄養成分、食品添加物、残留農薬、有害金属、有害化合物、合成抗菌剤、微生物、遺伝子組換え検知、アレルギー関連物質、自然毒、放射能など 品質検査: JAS認定審査、食品に関する官能試験・保存試験・物性試験・異物試験 衛生検査: HACCPに基づく食品工場・厨房・店舗の衛生調査 環境試験: 水質、大気、生物中・底質・産業廃棄物の有害化合物試験 認証取得コンサルティングなど
主な検査業務内容	



みんな集まれ

「技術のおもちや箱」

一般公開



宮城県産業技術総合センターでは、去る七月九日(金)、十日(土)の両日、今年も恒例になりました「一般公開が行われた。」

この一般公開は、県民、特に青少年を対象として、技術とふれあう場を提供し、来場者に産業技術を身近に感じてもらうとともに、当センターの事業内容を広く県民に紹介してご理解をいただくための開催されているものです。

「工業製品から食品まで」に及ぶセンターの設備・機器を使用した「ものづくり」の楽しさに触れながら、様々な成果物の展示と体験教室、及び県内四地域から協力をいただいた電紋塗り(鳴子)、竹細工(岩出山)、木材加工(津山)、硯石加工(雄勝)の体験教室がありました。



センター内に設置されている当計量協会においても「びっこり体験!鉄筋破断」と銘打った建築・土木材料の鉄筋を引張り試験機により数トンの力で引きちぎる実験を行いました。初日の九日は、近隣小学校(二校)の児童約一九〇人を招待して見学してもらいました。おそらく見学者全員が初体験ではないかと思われませんが、鉄筋破断の瞬間を今か今かと目をまばたかせながら息をのみ、担当者から「間もなく切れますよ」と話された直後に、「ドスン……パチン……」という地



響きと共に大きな破裂音がしました。両手で耳をふさいでいた子供達もこれには堪らず、「ワー……、キヤー……」と叫声を上げながら逃げ回っていました。

また、今年度からの新規事業として「体験しよう!エコ・エレクトロニクス」、「ようこそ!耐久試験の世界へ」、「米粉で作ろう!ピザ」の三つの実演紹介コーナーが設けられ、多くの見学者で賑わっていました。

「体験教室」のコーナーでは、顕微鏡観察、ペーゴマやアクセサリを題材にした鋳物技術体験、竹とんぼづくり、木製品づくり等に挑戦していました。



また、工業技術センター時代からの歴史コーナー・パネルの展示コーナー・事業紹介コーナー・宮城県グリーン製品展示コーナー・企業紹介コーナー・テクノフォト展等が行われました。

二日間で約八〇〇名の見学者の方々が訪れ、好評のうちに終了しました。

釣り大会

今年も釣り日和に恵まれ六月二十六日(土)に開催された。

参加人員二十九名、釣船二艘で朝五時大型漁礁目指し出航した。

昨年は休む暇がない程入れ食いの状態であったが、今年は、穂を降ろすもなかなか当たりが少なくマガレイ・マコガレイの食いつきが悪状況であった。それでも参加者平均で六十枚程の釣果となった。

今年の表彰基準は、釣った中から大きいサイズのマガレイ・マコガレイ二枚を合算した長さで各賞を決めた。

表彰者は下記の通りです。

入賞者

優勝
内海定夫氏 (トキコテクノ株) 七十四cm

第二位
千葉隆氏 (トキコテクノ株) 七〇cm

第三位
越後啓太氏(テックエンジニアリング株) 六十六cm



各釣り名人達

「10みやぎ計量のひろば」開催

【期 日】平成22年10月30日(土)10時~14時
 【場 所】仙台市太白区長町7丁目20-5
 ララガーデン長町1階南エントランス

イベント内容

- 計量器・計量パネルコーナー
- 健康測定コーナー
- 111グラム・計ってみよう
- 重さ当てコーナー(果物・野菜等)
- 計量記念日ポスター展示(入賞作品・小学生)

*参加者全員に記念品贈呈、小さいお子さんに風船配布

主 事 佐藤 健
 技術次長(班長) 古川 隆
 主任主査 篠澤 守
 技術主査 青田 洋一
 (土木部設備課)
 六月一日付
 (転入者)四月一日付
 技術次長(班長) 草刈 謙一
 (仙台地方ダム総合事務所)
 (転出者)四月一日付
 (退職者)三月三十一日付
 (仙台地方ダム総合事務所)

計量検定所人事異動のお知らせ

平成22年度優良事業所視察

平成22年度東北・北海道計量大会参加募集

●●● 日程表 ●●●

期 日 平成22年11月12日(金)
 場 所 古河電池(株)いわき事業所
 いわき市常磐下船尾町杭出作23-6
 募集人員 30名
 締 切 日 平成22年10月20日(水)
 参加費用 1,000円

期日	時間	行事	参加負担金
10月7日(木)	12:00~13:00	受付・昼食	参加費 1.大会・総会のみ3,000円 2.懇親会まで 大会・総会・懇親会11,000円 3.宿泊まで 大会・総会・懇親会・宿泊...18,000円 4.全日程参加 大会・総会・懇親会・宿泊・視察研修24,000円
	13:10~14:10	東北・北海道計量大会	
	14:20~15:50	第59次東北六県北海道計量協会連合会総会	
	16:00~17:00	記念講演 講演者：マーティ・キーナート [仙台大学副学長 東北楽天ゴールデンイーグルス シニア・アドバイザー]	
	18:30~20:30	懇親会	
10月8日(金)	8:30~15:00	<視察研修コース> ホテル佐勤 → 材木岩公園 → 白石市古典芸能伝承の館「碧水園」→ 白石城・歴史探訪ミュージアム → うーめん番所(昼食) → 仙台駅西口(解散)	

場 所 秋保温泉「ホテル佐勤」仙台市太白区秋保町湯元字薬師 28
 締切日 8月31日(火)
 申込み TEL・FAXにてお申し込みください。



計量啓発標語募集のお知らせ

募集要項

- ① 応募対象：どなたでも応募できます。
 - ② 応募数：1名につき3作品まで。
 - ③ テーマ：正しい計量の大切さをアピールするもの。
 - ④ 応募方法：作品の他、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業(学校名など)・電話番号・Eメールアドレス(お持ちの方)を記入し、郵送・FAX・Eメールにてお送りください。
 - (注1) 書式は自由、未発表作品に限りません。
 - (注2) 応募作品は原則として返却しません。
- 応募締切 平成二十二年九月十日(金)
 応募・問い合わせ先 (社)宮城県計量協会
 TEL 〇二二二四六二四六六
 FAX 〇二二二四七二四九〇

会員からの



技術研修会

(社)日本環境測定分析協会 東北支部

期 日 平成二十二年九月二十九日(水)

場 所 スパリゾートハワイアンズ(福島県いわき市)

テ ー マ 講演・事例研究発表

参加費用 二〇,〇〇〇円(1名)

編集後記

波をチャブチャブチャブチャブ
 掻き分けて
 雲をスイスイスイスイ
 追い抜いて・・・と、

いった調子で、先日久し振りに協会行事の『釣り大会』に参加しました。仙台やマトハカリの加藤名人と、北日本環境整備の大崎名人の両釣り名人にはさまれ、今後の協会のありかたなどを話しながらでしたが、それなりの釣りの成果がありました。

平成十五年度、東北・北海道計量大会『七夕大会』の年に打ち上げられた、日本の小惑星探査機『はやぶさ』が六十億キロメートル(地球と太陽の距離の四十倍)の旅を終えて七年ぶりに帰還しました。偶然にも平成二十二年、大会当番県の年でした。

いよいよ八月、あとふた月ちよつとで待ちに待った大会本番です。昨年より実行委員会を立ち上げ、参加される方々に楽しんでもらえるように企画しました。会員方々の沢山の参加をお願い致します。

編集委員長 加藤